

第12回とよた絵本コンクール最優秀作品



さく 土屋志野

第12回とよた絵本コンクール最優秀作品

# ブランドのバッタ



さく 土屋志野



<sup>あき</sup>秋のある<sup>ひ</sup>日のことです。

ベランダの<sup>うえ</sup>植木鉢<sup>ばち</sup>の<sup>なか</sup>中に バッタがいました。



つぎ ひもまた つぎ ひも おな  
次の日もまた 次の日も 同じところにいました。  
たまに すこ だけ うご 動きます。



やがて <sup>ふゆ</sup>冬<sup>き</sup>が来ました。  
じっとしています。



ゆき ふ  
雪が降りました。  
じっとしています。



あるとき うえ き ばち みず 植木鉢に水がかかると …  
と は 飛び跳ねました。



ゆっくり<sup>ある</sup>歩いて<sup>もど</sup>戻りました。  
また じっとしています。



おな  
同じところで何日も過ごし  
なんにち  
す  
はる  
むか  
春を迎えました。



たいよう あたた  
太陽が暖かいです。  
よく うご動くようになりました。



おや せんたくもの洗濯物にとまっています。  
いっしょと一緒に取り込まれました。



だいしょうぶ  
大丈夫。

いえ ひと そと た  
家の人<sup>い</sup>が外<sup>そと</sup>に出<sup>だ</sup>してくれました。

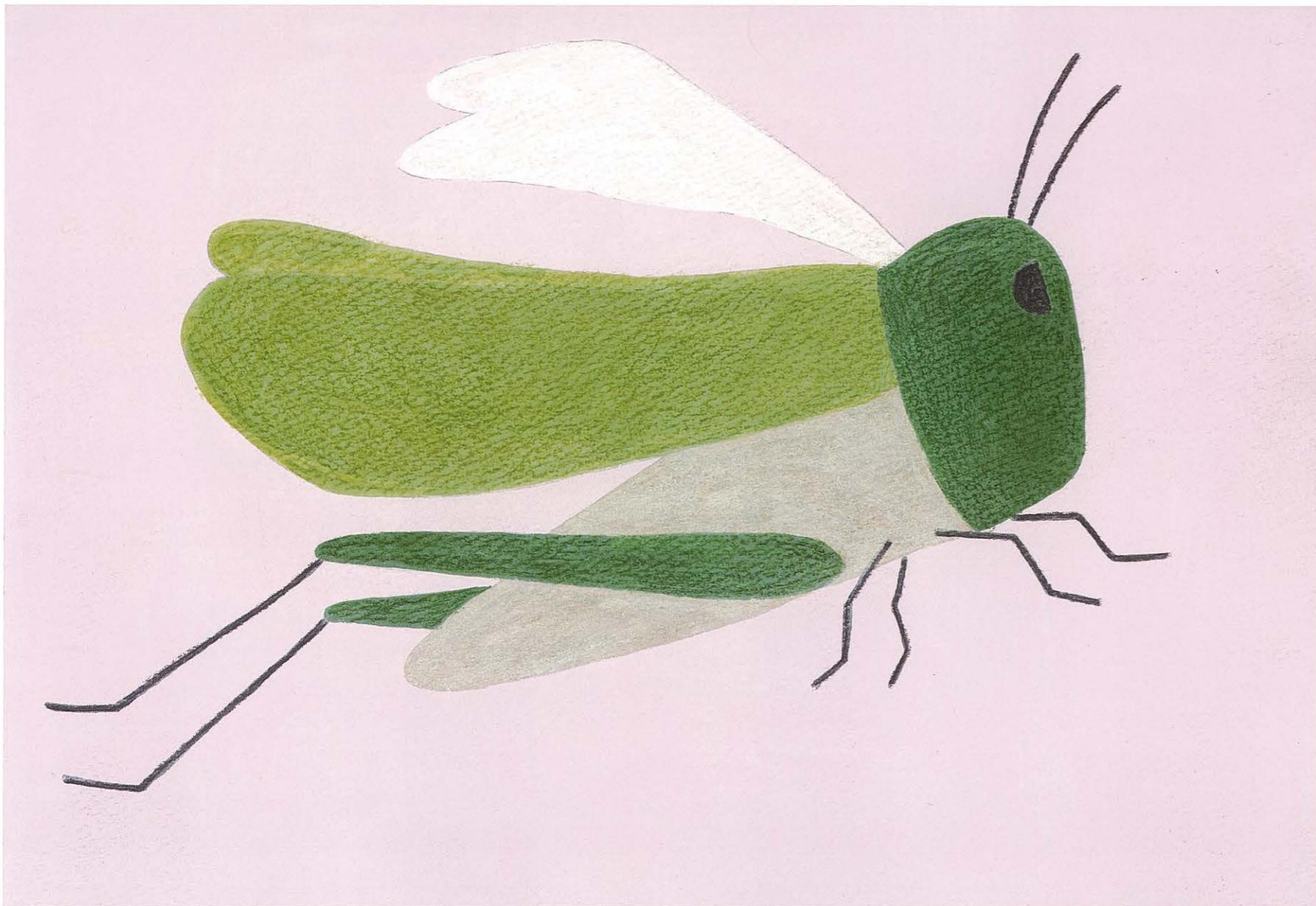
バッタはもうじっとしていません。



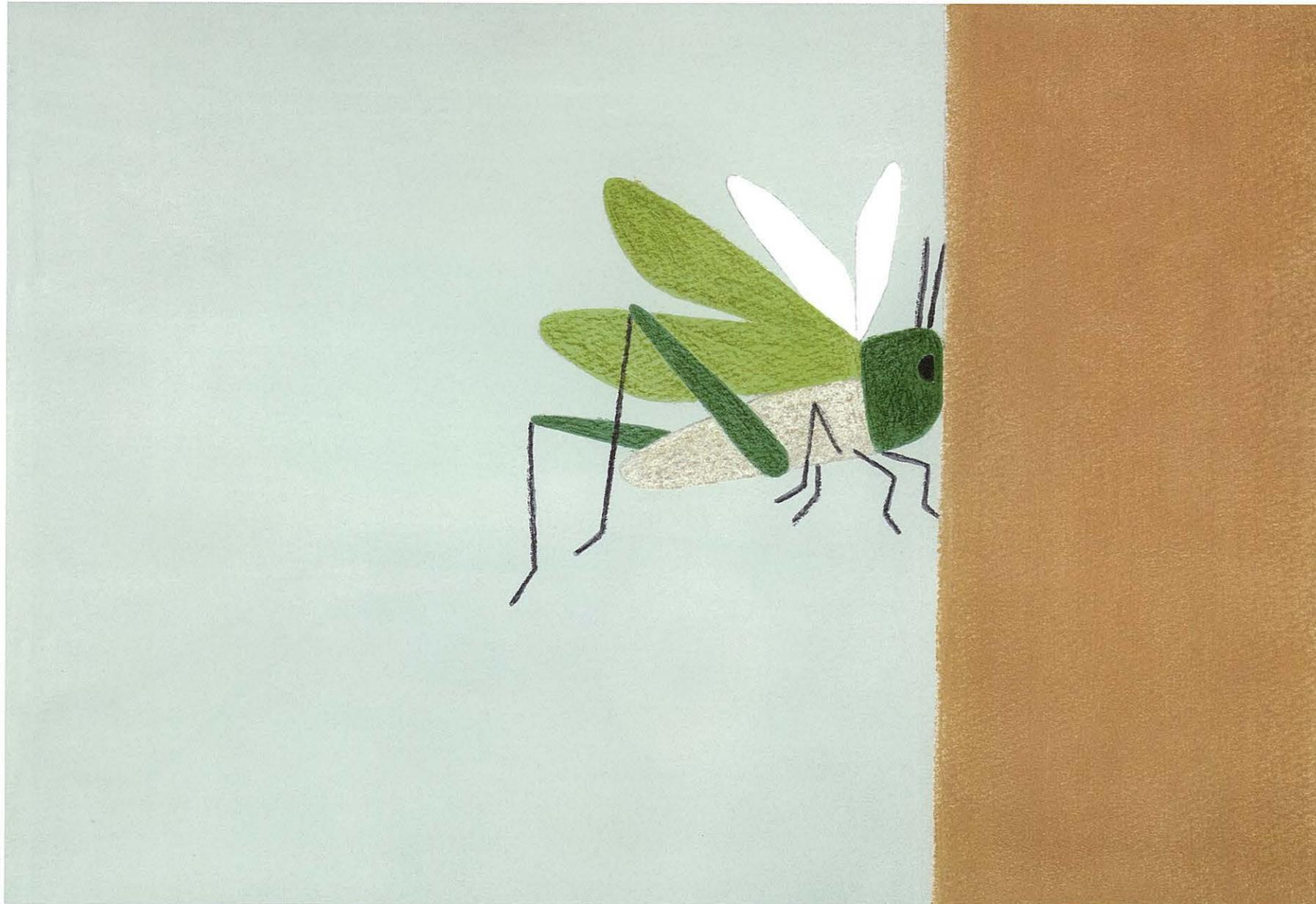
今度は手すりのところまで来<sup>き</sup>ました。

そして 空<sup>そら</sup>を見<sup>み</sup>あ<sup>あ</sup>げました。

うんちをして …



ついに <sup>はね</sup>羽を<sup>おお</sup>大きく<sup>ひろ</sup>広げて<sup>たび</sup>旅立ちました。



あつ となり いえ かべ 隣の家の壁にぶつかりました。



でも 平<sup>へい</sup>気<sup>き</sup>です。

遠<sup>とお</sup>くへ 飛<sup>と</sup>んでいきました。

#### 著者プロフィール

##### 土屋 志野

春日井市在住

セキセイインコと金魚を飼っています。

身近な自然や生き物が大好きでよく絵を描きますが、絵本を作ったのは今回が初めてでした。

#### 著者コメント

この絵本のバッタは、昨年実際に我が家のベランダに住んでいたバッタがモデルです。

毎朝、洗濯物を干しにベランダへ出るたび「今日もいるかな?」と探してみるのが日課でした。結局、半年ほど住み続け、ときにはちょっとした事件も起こって、まるで絵本のお話みたいだなあと感じたのがこの作品を描いたきっかけです。

私が考えたというよりバッタが作ってくれた絵本です。

今はもうこの世にいないと思いますが、あのときのバッタにありがとうと言いたいです。

(どうやらバッタの中でも越冬できる「ツチイナゴ」という種類みたいです。)

#### とよた絵本コンクール

とよた絵本コンクールは、2003年から愛・地球博のパートナーシップ事業として始まり、心のもったゆめあふれる絵本を通じて、次の世代を担う子どもたちに、21世紀に生きるためのメッセージを残そうとするものです。



#### ベランダのバッタ

2015年3月10日 初版第1刷発行 著者/土屋 志野 (つちや しの)

発行/豊田市中央図書館 〒471-0025 豊田市西町1-200

印刷・製本/三河印刷株式会社

©第12回とよた絵本コンクール 主催/豊田市中央図書館 主管/とよた絵本コンクール実行委員会

後援/公益財団法人豊田市文化振興財団

